

令和6年1月19日（金） 10:00～12:00 家庭科室

○出席 後藤委員 井上委員 太田委員 駒野委員 高井良委員 藤木委員 吉田委員
校長 副校長

13名中9名出席 委員の過半数の出席により本会は成立

○傍聴者 なし

1 会長挨拶

今年もよろしくお願いいたします。

児童館のイベントを見学したところ、緑小の子供たちが主体的に頑張っていました。

来年度に向けて、よろしくお願いいたします。

2 校長挨拶

緑小に大谷選手からのグローブが届きました。月曜日にグローブの紹介を全校児童にします
緑中の生徒が、5人、職場体験で来ています。

6年1組の担任が病休に入りました。代わりに算数少人数担当が担任代行をしています。

コロナが5類になったおかげで、制限もなくなり地域協働学校本部の活動が活発になりました。

今年もよろしくお願いいたします。

3 第2回学校評価、学校関係者評価について

○道徳について

指導教諭（道徳）の模範授業を参観しようという意識が少しずつ高まり、短時間ではあるが模範授業を参観する校内の教員が増えてきた。道徳の授業内容も主題に迫るための手だてに工夫が見られるようになり、授業力の向上にもつながっている。全教員が、年間一回以上、模範授業を参観できるように、今後も検討していく。

○いじめ防止について

全クラスでWebQUを行い、その結果を児童理解や学級経営に生かすことができた。また、各学期に行ういじめアンケートを基に、児童に丁寧に聞き取りを行い、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に努めることができた。児童アンケートの結果を見ると、楽しく学校生活を送れている児童が多いことが分かるが、いじめ0を目指して、今後もいじめ撲滅の取組に力を入れていく。

○協働学習について

発達段階に応じてクロームブックを活用したり、ペアやグループによる対話を重視した学習をすることで、児童が積極的に協働学習に取り組むようになってきた。クロームブックを活用することで、児童の表現の幅が広がったので、児童同士の交流を通して学習を深められるようにしていくことが今後の課題である。

○ICTの活用について

児童それぞれが作成したものを見合うことができる閲覧機能や一つのワークシートに複数を書き込みのできる共同編集機能等を、学習内容に応じて使い分けながら、協働的な学習を充実させることができた。ICT機器を活用しながら、子供たちにとって分かりやすく、楽しい授業を展開できるよう、今後もさらなるICT機器の活用方法を考えていく必要がある。

○外部人材の活用について

学校ボランティア等の外部人材に協力を得ながら、学区域内の校外学習の引率をしてもらったり、家庭科の学習補助をしてもらったりすることができた。2学期以降は、ゲストティーチャーによる授業も多く実施され、子供たちにとって充実した学習の機会を得られた。今後も、外部人材を活用した学習ができるよう、計画的に実施していく。

○地域学校協働本部について

地域学校協働本部の地域コーディネーターと連携して学校ボランティアを募集し、授業の学習補助として活動してもらうことができた。放課後子ども教室においては、「みどりのほうかご」や「ほうかごスタディールーム」等に参加する児童がとて多く、充実した活動となった。今後も、地域学校協働本部との連携を密にしていく。

○体力の向上について

持久走月間やなわとび月間の朝の取組を行い、学校全体で子供たちの体力向上を目的として体力向上部を中心に実施した。児童アンケートでも「体育の授業を楽しく行い、体力をつけた」という設問の肯定的評価が90%以上と高評価だった。体力テストのソフトボール投げの数値が例年低い傾向にあるので、改善を図っていく。

○食育について

食育だよりを月1回発行し、食育に関する情報を家庭に向けて発信することができた。食育だよりを通して家庭と情報共有することで、保護者の食育に関する意識も高まりつつある。食育の一環として、低学年を中心に学級担任と栄養士が協力し、食育に関する授業を実施することができた。その結果、子供たちは、食育に対して意識が少しずつ高まってきた。

○ハチドリプロジェクトについて

低学年では、自然を大切に活動やごみの削減を考える活動に取り組んだ。中学年は、環境教育や障害者に関する教育に取り組んだ。高学年は、防災教育や食品ロスの問題、環境教育に取り組んだ。今後も、具体的にどのようなことが「ハチドリプロジェクト」につながるのか、学年や学校全体で共通理解しながら実践していく必要がある。

○HPについて

9月以降も、「学校の様子」や「コミュニティ・スクール」のページの更新が十分にできなかった。保護者アンケートの「学校は、学校公開・保護者会・たより・行事などを通して、子供たちの様子を分かりやすく伝えている」という設問では、90%以上の保護者が肯定的な回答をしているが、学校の様子等を保護者に伝えるためには、ホームページでの情報発信回数をもっと増やす必要があった。

○その他

- ・コロナが5類になり、子供たち同士の関りが活発になってきた。
- ・夏以降、マスクをはずす子供たちが増えてきたと思う。
- ・子供たちが話しながら下校する様子が見られ、以前のような生活が戻ってきた。
- ・今の小学生は、外で遊ぶ子供が少なくなっている気がする。
- ・ボール遊びができる場所があまりないので、外遊びをしないのではないか。
- ・HPの更新頻度の目標を少し下げてもいいのではないか。
- ・CSの広報活動を何かの形でできるとよい。

○地域協働学校活動について

- ・「みどりのほうかご」の案内を「地域協働学校本部」として、毎月発行している。
- ・1年生・・・昔遊び
4年生・・・ボッチャの体験
5年生・・・防災教育、家庭科の学習
以上の学年で学校ボランティアとして活動する予定である。

4 情報交換

- ・学童、児童館、みどりのほうかごで避難訓練を実施した。
- ・令和7年度から、全学年でクラス替えをすることにした。
来年度は、新2・3・5年生でクラス替えをする。
- ・多くの子供たちと関わり合えるという意味では、クラス替えは良いと思う。
- ・5年生は、持ち上がりでもいいのではないか。
- ・地域コーディネーターと学年主任等で交流会をして、情報交換をした。
とても有意義な時間だった。